

2011年度
(平成23年度)

事業計画書 収支予算書



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
TEL:03-5424-1121(代) FAX:03-5424-1126
<http://www.unesco.or.jp> E-mail:nfuaj@unesco.or.jp

目次

I	2011年度事業計画構想	1
II	2011年度主要事業日程	2
III	2011年度事業計画内容	3
	1. 国内における平和構築活動	
	2. 海外における平和構築活動	
	3. 事業資金の拡大・充実	
IV	2011年度収支予算書	10

I 2011年度事業計画構想

今年、日本がUNESCOに加盟して60周年を迎える記念の年です。加盟実現に大きな役割を果たした私たち民間ユネスコ運動は、64年目の活動を迎えます。そして本年、社団法人日本ユネスコ協会連盟は、4月1日をもって公益社団法人へと生まれ変わることになりました。この機会に、私たちは改めてユネスコ運動の理念を再認識し、世界平和の実現のために一層の努力をして参ります。

今年度の事業は、活動の継続性を保ちながらも、さらなる公益性を求め、個々の事業について必要な見直しを行い、財務の安定化を図りながら、積極的な事業展開を図っていきます。

去る3月11日に起こった東北地方太平洋沖巨大地震は、大規模な津波、火事を伴い、あまつさえ原子力発電所の事故に起因する放射性物質の放出が危惧されております。これを教育関係についてみると、数千にも及ぶ多くの学校が被災し、その被害は極めて甚大であります。この未曾有の大災害に直面して、当協会連盟は、今後長きにわたる日本の担い手となる子どもたちへの教育を救援し、この大災害から少しでも子供たちを守るために、東日本大震災子ども支援募金を開始しました。当協会連盟の被災地への教育復興支援に対しては既に、UNESCO、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、三菱東京UFJ銀行、電通始め、数多くの組織・企業等から多大なる応援をいただいております。

本年度は、大震災という不測の事態の発生から始まりました。年度前から企画してきた事業で、すでに中止または延期のやむなきに至った事業もあります。今後、事態の変化を考慮しつつ、柔軟に対応して参ります。この国難に際して、全国のユネスコ協会の会員が一丸となって相協力し、難局に立ち向かっていけるよう、各位のご理解とご協力をお願いいたします。

Ⅱ 2011 年度日本ユネスコ協会連盟主要事業日程

2011 年

5月14日(土)	第24回評議員会・第476回理事会
5月27日(金)	第476回理事会・第477回理事会・第62回総会
5月28・29日(土・日)	第67回日本ユネスコ運動全国大会(富山県富山市)
7月16・17・18(土-月)	「夏のキャンペーン」 「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」キャンペーン 「平和の鳥 de 募金」
7月19日(火)	「民間ユネスコ運動の日」
7月下旬	ESD 国際交流プログラム(ドイツ・フランス)
7月30日(土)	第25回評議員会・第478回理事会
8月1-4日(月-木)	第43回ユネスコこどもキャンプ
8月18-22日(木-月)	第8回WFUCA世界大会と世界遺産の旅(ベトナム)
8月19-21日(金-日)	第8回WFUCA世界大会(ベトナム・ハノイ)
8月20・21日(土・日)	中部東ブロック・ユネスコ活動研究会(静岡県浜松市)
9月3・4日(土・日)	中部西ブロック・ユネスコ活動研究会(三重県伊勢市)
10月1・2日(土・日)	四国ブロック・ユネスコ活動研究会(愛媛県四国中央市)
10月8・9日(土・日)	北海道ブロック・ユネスコ活動研究会(北海道函館市)
10月15・16日(土・日)	関東ブロック・ユネスコ活動研究会(千葉県成田市)
10月21日(金)	第479回理事会
11月12・13日(土・日)	九州ブロック・ユネスコ活動研究会(福岡県久留米市)
未定	近畿ブロック・ユネスコ活動研究会(和歌山県)
未定	中国ブロック・ユネスコ活動研究会(島根県)
中止	東北ブロック・ユネスコ活動研究会(平泉町)

2012 年

1月	第4回プロジェクト未来遺産募集開始
1月14日(土)	第26回評議員会・第480回理事会
3月10日(土)	第481回理事会

1. 国内における平和構築活動

(1) 普及実践活動

- ① 日本政府ユネスコ加盟 60 周年記念 第 67 回日本ユネスコ運動全国大会 in 富山
民間ユネスコ活動の普及と会員の研修を目的に、基調講演やシンポジウムを通して、
持続可能な社会へ向けての研鑽を深める

日程 2011 年 5 月 28 日（土）～29 日（日）

会場 富山国際会議場

主催 日本ユネスコ協会連盟、富山県ユネスコ連絡協議会、富山ユネスコ協会、
氷見ユネスコ協会

共催 富山県教育委員会、富山市教育委員会、富山経済同友会

後援 外務省、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国際連合広報センター、
富山県、富山市、氷見市教育委員会、北日本新聞社、富山新聞社、北日本
放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山エフエム放送、ケーブ
ルテレビ富山

テーマ「持続可能な社会の実現に向けて」

- ② ブロック別ユネスコ活動研究会

開催都道府県におけるユネスコ運動の普及と会員の研修を目的に、基調講演やシン
ポジウムを通して、持続可能な社会へ向けての研鑽を深める研究会を全国 9 ブロック 9
か所で開催する。

期間 2010 年 7 月～11 月

場所 浜松市、伊勢市、四国中央市、平泉町、函館市、成田市、和歌山県、
島根県、久留米市

主催 日本ユネスコ協会連盟、都道府県ユネスコ連絡協議会、主管ユネスコ協会

- ③ ユネスコ夏のキャンペーン

7 月 19 日の民間ユネスコ運動の日から約 1 ヶ月、全国のユネスコ協会が一般の人々
にユネスコ活動を広報するイベントを行う。

A) 民間ユネスコ運動の日（7 月 19 日）

世界最初のユネスコ協会が日本・仙台で設立された 1947 年 7 月 19 日を記念して、
世界の平和を希求する活動を全国一斉に実施し、広く地域社会の人々にユネスコ
精神を普及する。この運動に合わせ、地元の清掃活動など環境保護への取り組み
を強化する。

B) 「平和の鐘を鳴らそう！」

2000 年の平和の文化国際年を記念し、全国各地のお寺や協会の鐘を鳴らして、平
和への祈りをささげる。

C) 「平和の鳥 de 募金」

すべての人が教育を受けられる世界を目指して、世界寺子屋運動の募金活動を行う。

(2) 青少年活動

- ① 次世代育成のための青年活動の支援
 - A) 全国の青年活動の振興を支援し、青年リーダーの育成をはかる。
 - B) 「東日本大震災子ども支援募金」

東日本大震災による未曾有の大災害に直面していることに鑑み、日本ユネスコ協会連盟として支援募金を行う。救援物資の受け入れ、配布等の支援は行わない。

概要 被災地の教育復興のための支援金

対象 被災地の学校（ユネスコスクール含む）

支援対象及び支援内容 当該地域教育委員会、近隣ユネスコ協会と協議し決定

使途報告 ホームページを始め、連盟の媒体物で報告
- ② スタディツアー
 - A) 平成 23 年度内閣府青年国際交流事業
内閣府が行う青年交流事業に青年を推薦し、参加費を一部補助する。
目的 日本と世界各国の青年の交流を通して、相互の理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養う機会を提供する。
対象事業 国際青年育成交流、日本・中国青年親善交流、日本・韓国青年親善交流、世界青年の船、東南アジア青年の船、青年社会活動コアリーダー育成プログラム
 - B) International Youth Camp (IYC) 派遣事業
韓国ユネスコ国内委員会が主催する IYC へ青年を派遣する。
日程 2011 年夏
場所 韓国
 - C) 高校生・教員スタディツアー
高校生並びに学校教員を寺子屋運動の現場に派遣し、国際理解・協力への理解を促進する。
日程 2011 年 8 月
場所 カンボジア・シエムリアップ
- ③ ユネスコスクールの普及活動（通年）

ユネスコスクール研修会を、日本/ユネスコ・パートナーシップ事業に申請し、事業を受託した場合に、都道府県におけるユネスコスクール普及のための研修会を開催する。
- ④ ユネスコ学校プロジェクト（通年）

「私のまちのたからものスライドショー」 ユネスコスクールを中心に、「ユネスコ寺子屋プロジェクト」「守ろう地球のたからもの」の3つのプロジェクト型学習を提供するとともに、三菱東京UFJ銀行の協力によるESD国際交流事業、ESDアシストプロジェクトを実施する。
- ⑤ 教員研修会
学校プロジェクトを普及するため、プロジェクト参加教員を対象とする研修会を実施する。
日程 2011 年 5 月 7～8 日

- ⑥ 第43回ユネスコ子どもキャンプ
 小学4年～中学3年生を対象に集団生活を通じて自主自立と自然愛護の精神を育成し、国際理解と相互協力の大切さを学ぶ。
 日程 2011年8月1日～8月4日
 場所 奈良県立野外活動センター
 主催 日本ユネスコ協会連盟、奈良県ユネスコ協会連絡協議会
- ⑦ 「守ろう地球のたからもの」(通年)
 国連「持続可能な開発のための教育の10年(UNDESD)」の理念に基づき、持続発展教育(ESD)を推進する次の事業を行う。
 A) ESD教材「豊かな自然編」「豊かな世界遺産編」の寄贈
 B) 世界遺産「白神山地」周辺地域での植樹活動
 C) みどりの絵コンクール
 D) 子ども自然体験教室(みどりの絵コンクール受賞者対象)の実施
 協力 三菱UFJフィナンシャル・グループ
- ⑧ 三菱アジア子供絵日記フェスタの共催 (通年)
 国際識字年を記念し、1990年から、相互の文化や生活に触れ、理解を深めることを目的に開催。アジア24の国地域の子どもたちが描く絵日記を通じ理解を深める。
 対象 日本を含むアジア23の国と地域
 主催 三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)、日本ユネスコ協会連盟

(3) 組織の拡大とユネスコ活動の充実

- ① 地域ユネスコ活動助成
 ユネスコ協会の活動振興を図るため、青少年事業を中心としたユネスコ活動を募集し助成する。
- ② ユネスコ協会活動振興のための顕彰
 地域のユネスコ活動を推進するため、ユネスコ協会への活動顕彰を行う。
- ③ 都道府県連絡協議会、ユネスコ協会、新設ユネスコ協会への助成
 地域のユネスコ活動振興のための助成を行う。
- ④ ユネスコ協会設立の勧誘と支援 (通年)
 新規のユネスコ協会の設立を促進する。
- ⑤ ユネスコ協会便の発送
 月1回、ユネスコ活動情報を全国ユネスコ協会へ送付する。
- ⑥ 「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」
 ユネスコ協会主催の絵画展に日本ユネスコ協会連盟会長賞を授与する。
- ⑦ ユネスコ運動推進員研修
 ユネスコ協会の次代を担う会員を対象に、運動を市民に伝え、広めていくことのできる人材を育成する。第2期生(任期2年目)および第3期生(任期1年目)へのフォローアップを行う。

(4) 世界遺産・地域遺産活動

- ① 世界遺産年報の発行
世界遺産の最新情報を盛り込んだ「世界遺産年報 2012 No. 17」を財団法人日本宝くじ協会の助成を得て発行し、国公立図書館、大学附属図書館、教育委員会等へ寄贈する。
- ② 植樹プロジェクト（青森県）
世界遺産「白神山地」周辺地域での植樹活動を通して、環境意識を啓発する。
- ③ 未来遺産運動（通年）
“未来へ伝えたい私のまちのたからもの”を守り、100年後の子どもたちに地域の文化・自然遺産を継承する運動を全国的に展開する。
 - A) プロジェクト未来遺産
地域の文化・自然の継承、保護のために活動する市民団体のプロジェクトを全国公募し、専門家・企業人等からなる未来遺産委員会により1年に10件の「プロジェクト未来遺産」を選考し、登録。応援金を贈呈するとともに、広報などについて協力を行う。
 - B) 私のまちのたからものコンテスト（スライドショー）
児童・生徒の郷土愛を育むことを目的とし、デジタル写真にナレーションや音楽をつけたスライドショー作品を募集して実施。全国の小・中・高等学校を対象に行う。また、本コンテストは「ユネスコ学校プロジェクト」の一環としても位置づける。
- ④ 国内世界遺産啓発・保全活動
日本国内における世界遺産の保全活動に関する協力の可能性について現場のニーズを調査する。

(5) 海外との連携

- ① アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動振興（通年）
 - A) AFUCA 会長国として域内ユネスコ協会・クラブ活動の振興に協力する。
 - B) 第21回 AFUCA 執行委員会を開催する。（韓国）
 - C) 韓国ユネスコ運動全国大会への代表者派遣
- ② 世界ユネスコ協会クラブ連盟（WFUCA）への協力（通年）
 - A) 第8回世界大会への代表者派遣（2011年8月ベトナム・ハノイ）
 - B) 第8回世界大会ベトナムスタディツアー実施（2011年8月18～23日）
- ③ UNESCOとの連携
 - A) UNESCO 芸術賞基金の管理・運営を行う。
 - B) UNESCO 東アジア子ども芸術祭に、日本の子どもたちを派遣する。
 - C) その他

(6) 普及広報活動

① 広報活動

民間ユネスコ活動推進のために以下の広報活動を行う。

- A) 機関誌「ユネスコ」の発行（季刊、年4回発行）
- B) ビデオやパネルの貸出
- C) パンフレットの配布（事業パンフレット等）
- D) その他（新聞雑誌、広告、動画配信、共催・後援許可等）

② WEB 広報活動

- A) 日ユ協連ホームページの全面改定及び管理
- B) メールマガジン「ユネスコ情報マガジン」の発行
- C) WEB 募金の充実

③ 都市対抗野球大会

スポーツを通じて平和のメッセージを発信する。

2. 海外における平和構築活動

(1) 世界寺子屋支援活動（通年）

“すべての人に教育を（EFA）”の目標達成のため、誰もが基本的人権としての基礎教育を受けられ、持続可能な地域の発展と平和な社会づくりに参画できる世界を目指し、開発途上国において教育機会を得られない人々に対して、世界寺子屋運動を通じた教育支援活動を行う。また、世界寺子屋運動広報特使「まなびゲーター」久保純子さんや各種企業のご協力を得て、国内の募金広報活動をこれまで以上に積極的に行う。

① アジア5ヵ国での事業実施

A) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シエムリアップ州教育局と連携し、州内の村で子ども、成人を対象とした識字教育、技術訓練及び収入向上プログラムを実施する。

B) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

アフガニスタン教育省識字局と連携し、カブール県、パルワン県、バーミヤン県において、識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

C) ネパール（ルンビニ寺子屋プロジェクト）

世界遺産「ルンビニ」周辺の12村とカトマンズ近郊の4村で識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

D) インド（ゴカック寺子屋プロジェクト）

カルナータカ州ゴカック郡でベルガウム農村総合開発協会に協力し、2012年7月の支援終了に向け、45村で識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

E) ラオス（ルアンパバン寺子屋プロジェクト）

ラオス教育省と連携し、ルアンパバン県内の12の貧困村で識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

② 世界寺子屋運動研修活動

外部資金（ODAを申請中）が得られた場合において、世界寺子屋運動の当該国の関係者を日本に招聘し、研修活動を実施する。

③ 新規プロジェクト調査

新規プロジェクトの支援内容とその実現可能性に関する調査を実施する。

④ NHK「日本賞・日本ユネスコ協会連盟賞」の授与

NHK主催の「日本賞」教育番組国際コンクールで、途上国の識字教育を促進する優れた番組企画に対し、「日本ユネスコ協会連盟賞」を授与する。

⑤ 事業実施のための募金広報活動

A) 募金広報印刷物の制作

B) 書きそんじハガキ回収キャンペーン（2011年11月～2012年3月）

C) 募金広報ビデオ、パネルの制作

D) みなさまからの募金による活動レポート2011

世界寺子屋運動、一杯のスプーン支援活動、世界遺産・地域遺産活動等の募金による活動報告書を発行する。

- E) 広報特使まなびゲーター久保純子さんのご協力により、世界寺子屋運動の広報活動を強化する。

(2) 「一杯のスプーン」支援活動（通年）

世界寺子屋運動の支援先と連携しながら、無償医療活動を支援する。

A) ネパール

世界寺子屋運動の支援地ルンビニ地区での医療活動への支援を行う。

B) アフガニスタン

カブール市内で医療活動への支援を行う。またカブール市内の世界寺子屋運動実施地域との連携を探る。

(3) 世界遺産・地域遺産活動（通年）

- ① フィリピンの世界遺産「コリディリェーラの棚田群」（イフガオの棚田文化継承プロジェクト）

イフガオ州で棚田を保存するための伝統的知識を次世代の若者に引き継ぐことを目的とした事業を行う。

- ② カンボジアの世界遺産「アンコール」（アンコール・文化教育プロジェクト）

アプサラ機構、州教育局と連携し、シエムリアップ州の児童に対する塗り絵教材による伝統文化継承事業を行う。

- ③ アフガニスタンの世界遺産「バーミヤン溪谷の文化的景観と古代遺跡群」（バーミヤン教育文化センタープロジェクト）

アフガニスタンの情報文化省とも協議・連携しながら、現場でのニーズに対応した支援を行う。

- ④ 世界遺産広報事業

世界遺産条約の趣旨を正確に広報するための広報活動を行う。

3. 事業資金の拡大・充実

民間ユネスコ運動を発展させていくために、事業資金の拡大をめざす。

1) 財務の強化

- ① 募金総額の増加
- ② 維持会員及び個人会員の増加
- ③ 「月1・いいことプログラム」への協力者を増加するための各種施策実施。

2) 企業とのタイアップ事業の推進